

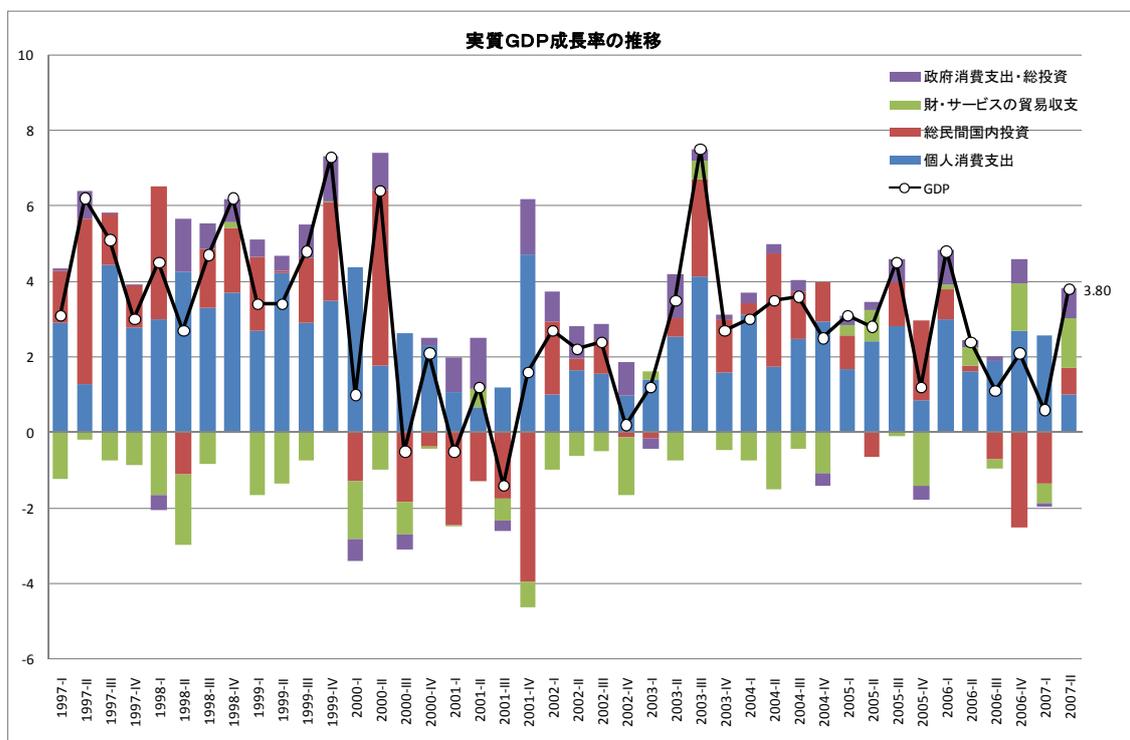
米国経済点描 (2007. 09. 28)

～2007年第Ⅱ四半期実質GDP成長率(確定値)～

9月27日、米国商務省経済分析局(BEA)が公表した2007年第Ⅱ四半期(4月～6月)の季節調整済みの実質GDP確報値は、先月の暫定値(preliminary estimates)から0.2ポイント下方修正され、年率換算で3.8%の成長となった。

この推計は、貿易統計などのデータソースがより完全に出揃うのを待って実施されたものであるが、暫定値より0.2ポイント下方修正されたのは、見込みよりも輸入が大きく、非住宅構築物が小さかったことが主因で、機器・ソフトウェアへの設備投資の上方修正と一部相殺しても、なおそれよりもインパクトが強かったためである。

2007年第Ⅱ四半期は、3.8%と比較的高い経済成長となったが、民間消費支出の寄与度が1%と低い点が気になるところである。7月と8月の小売・飲食店売上高の推移をみると、第Ⅲ四半期の民間消費支出の伸びは年率2.0～2.5%であり、このGDP成長に対する寄与度は1.5%～2.0%程度になるものと予想される。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル4F
 TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp